

活動内容

本人活動部会

部会長あいさつ

様々なかたちの当事者交流会を開催し、当事者同士の交流促進を図る活動を行っています。また地区文化祭へ参加し、地域住民の方とのふれあいを通じた普及啓発活動も行って



本人活動交流会にて「3B体操」



藤井 公博 (花巻市身体障害者福祉協)

平成24年に本部会が発足し、今年が2年目の活動となります。当事者が立場や環境を越えて、今何をしたいか、自分のことをどう表現したいかを一緒に考えていきます。



三田 敏明 (花巻市教育委員会教育相談室)

毎月1回定例会を開催し、花巻という地域の課題を掘りおこして利用者レベルでの目線で方向性を探ろうとしております。

部会長あいさつ



相談部会



福祉情報と居住情報
のWGで活動を行っています。福祉情報WGでは地域の福祉情報を掲載したガイドブックの発行や福祉制度の学習会を開催しています。居住情報WGでは地域の特性を踏まえた居住体制の整備等を行っています。

活動内容



情報部会



「情報」はあらゆる人が地域で生活するために必要なものです。私たちは障がいのある人が必要とする情報を収集し、更に発信することで情報格差を解消し、その人らしく生活することのお手伝いをしたいと思っています。

部会長あいさつ



高橋 岳志 (かな福祉相談支援事務所)

活動内容

相談支援体制・子ども支援WGにそれぞれ活動を行っています。相談支援体制WGでは各関係機関と連携し地域課題の抽出に取り組みんでいます。子ども支援WGではこどもの支援を中心にみらい手帳の普及啓発等を行っています。

部会長あいさつ

就労部会

活動内容



戸田 康雄 (花巻アビリティセンター)

今年度の当部会の取り組みとしては「より具体的に動く」事を目標とし、「実習実現」を縦軸に、「WGの連動連携」を横軸に置き、部会員一丸となり活動しております。今後も部会員相互の連携と協調を密にし、活動してまいりたいと思いますので、関係者、他部会の皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。



就労スキルアップ講座 大衡運送見学

当事者の方を対象としたセミナーの企画推進を行う当事者スキルアップWG。実習受け入れ先企業の開拓等を行う企業開拓WG。支援者を対象とした講習会等を企画する支援者スキルアップWGの3つのWGに加え、今年から広報WGを新設し、チラシを作成していきます。

●編集後記● 初めての広報紙作成でしたが、広報紙を作る事がこんなにも難しいものだとは思いませんでした。読みにくい部分があるかもしれませんが、今後多くの方に親しまれるような広報紙にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

ワーキングだより

第1号

発行日：平成25年7月17日

発行：花巻市地域自立支援協議会
情報部会

問合せ：支援センターあけぼの
TEL 0198-21-1813

会長あいさつ

「障がい者が住み慣れた地域で安心していきいきと生活できるまち」これは、平成24年2月につくられた花巻市保健福祉総合計画の目指す障がい分野の目標です。



会長 三井 信義
(ルンビニー苑)

障害者虐待防止法が施行になり、また障害者差別解消法が6月に成立し、今後基本方針が策定されようとしています。このように、すばらしい理念が掲げられ、国連の障害者権利条約の批准にむけての法整備がすすめられています。

しかし一方現実をみると、障がいに関わる差別や偏見は後を絶たず、障がい者のグループホーム建設に対する反対運動もなくなりません。最近では乙武さんのレストラン拒否運動がございました。このような問題の根本は障がいに対する正しい理解がないこと、そして障がいのある方々とのふれあいが不足していることにあると思います。

「よく知ることから理解が生まれ、ふれあうことから優しくなれる」ということを原点に、自立支援協議会として活発な啓発活動をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

★ 会長へちょこっとインタビュー ★

休日などは趣味の陶芸や読書などをして過ごしています。おすすめの一冊は河合隼雄著「命(こころ)の処方せん」です。60歳の手習いにFace bookを始め、日々感じたことや施設での出来事等を載せています。



ルンビニー苑利用者さん作
「苑長さん」

地域自立支援協議会広報紙発

花巻市地域自立支援協議会は平成18年10月に発足し、障がいのある方やその家族を支える仕組み作りに取り組んできました。そこで我々が行っている活動を広く知っていただければと考え、広報紙を発行することになりました。これから多くの方に読んでいただけるような広報紙を作っていければと思っています。

自立支援協議会ってなに？

障がい者が住み慣れた地域の中でいきいきと生活できるまちづくりを目指し、障がい者自身、家族、地域、学校、各種団体、企業などが話し合う場です。様々な課題を解決するために、本人活動部会・相談部会・情報部会・就労部会の4つの専門部会を設置し具体的取組を行っています。